

# 瀬々串校区コミュニティプラン

第2期（令和4年度～令和8年度）



瀬々串校区コミュニティ協議会

## 第2期 瀬々串校区コミュニティプラン

令和4年3月発行  
瀬々串校区コミュニティ協議会  
〒891-0201  
鹿児島市喜入瀬々串町3021-3  
Tel Fax 099-347-0174

## 目 次

I	プラン策定について	1
1	プラン策定の趣旨	1
2	第1期の成果と課題	1
3	計画の期間	1
II	瀬々串校区の施設・文化財等	2
III	瀬々串校区の現状と課題	6
1	まちづくり部会	6
2	社会体育部会	7
3	福祉・安全部会	8
4	社会教育部会	9
IV	まちづくりの目標	10
1	目標（スローガン）	10
2	運営方針	10
3	活動の体系図	11
V	事業計画	12
VI	資料	20

## 1 プラン策定の経過

令和2年度		
9月4日(金)	第1回プラン策定委員会	第2期プラン策定の概要
10月1日(木)	第2回プラン策定委員会	第2期プランの内容・スケジュール 住民からの意見聴取方法の検討
11月2日(月)	第3回プラン策定委員会	住民アンケート内容・スケジュール決定
10月30日(金) ～11月17日(火)	各部会	第1期事業反省
12月2日(水)	第4回プラン策定委員会	第1期プランの反省・まとめ アンケートの対象者決定
1月5日(火) 2月	第5回プラン策定委員会 (アンケートの実施)	アンケート案検討
令和3年度		
6月2日(月)	第1回プラン策定委員会	アンケートの分析
10月1日(金)	第2回プラン策定委員会	「プラン策定について」提案
10月14日(木) ～11月22日(金)	各部会	「現状と課題」「事業計画」検討
11月1日(月)	第3回プラン策定委員会	「プラン策定について」 「まちづくりの目標」決定
		「現状と課題」決定
12月1日(水)	第4回プラン策定委員会	「校区の概要」提案
		「事業計画」決定
1月5日(水) 2月2日(水)	第5回プラン策定委員会 第6回プラン策定委員会	「校区の概要」「活動の体系図」決定 プラン全体の承認・決定 印刷所の決定

## 2 プラン策定委員会委員名

委員長	浜崎武則	委員	田方辰代
副委員長	若松達雄	〃	浜崎和美
委員	前畑博志		
〃	川原尚文		
〃	浜田徳則		
〃	肝付市蔵		
〃	大塚次則	令和2年度	
〃	小村清巳	委員	浜崎利信
〃	志々目司	〃	西尾豊作
〃	浜田司		
〃	大迫勝徳		

# I プラン策定について

## 1 プラン策定の趣旨

瀬々串校区コミュニティ協議会は、地域の少子高齢化や人口減少、社会環境の変化や生活様式の変化から生じる連帯意識の希薄化に対応するため、第1期コミュニティプランで31の事業を掲げ、構成団体と連携を図りながら校区の課題解決に取り組んできた。しかし、令和2～3年度は、新型コロナの影響で多くの事業の中止を余儀なくされ活動が停滞した。

令和4年度以降は、コロナ禍が収束していることを願いつつ、これまでの成果や地域資源を活かしながら、連帯感と活力に満ちた地域社会構築のため第2期コミュニティプランを策定することにした。

## 2 第1期の成果と課題

### (1) 成果

- ・ 多くの事業の実施等により、「瀬々串コミュニティ協議会」の名称が住民に浸透し、住民同士会う機会が増えてきたと感じている人が多くいる。
- ・ 各部会の役割分担が明確になり、主体的に事業を推進するようになった。
- ・ 住民の地域づくりに対する関心が高まり、時間のとれない人はいるものの、役員や係として事業を推進したい、あるいは参加したいと考える人が増えた。

### (2) 課題

- ・ 協議会の活動や事業の内容等について、住民理解は十分とはいえないので、協議会だよりをはじめ、広報活動の充実に努める必要がある。
- ・ 各部会は確実に事業を推進しているが、計画の共通理解や改善のための話合が十分とはいえなかった。構成団体の協力態勢構築のための部会運営が必要である。
- ・ 役員の担い手など人材育成と若手の事業参加の促進が求められる。

## 3 計画の期間

令和4年度～令和8年度の5年間

## Ⅱ 瀬々串校区の施設・文化財等

瀬々串校区は、喜入地域の北端に位置し、谷山地域と隣接している。面積は約7.4km<sup>2</sup>、世帯数は約1140世帯、人口は約2260人で、喜入地域全体に対する人口比率は約21%である。屈曲した海岸線に沿って国道226号が走っており、上・中・下・浜田の4集落・自治会がある。また、台地が多く、校区西北部の台地に造成された星和台団地には、星和自治会がある。

総面積の約20%が耕地であり、西側の山の麓まで続いている段々畑には、オクラ・スイートコーン・大根・かぼちゃ・みかんなどの農作物が栽培されている。

校区内には、塩屋遺跡をはじめ多くの遺跡があり、縄文・弥生時代の遺物が出土している。また、郷土芸能の棒踊りを伝承するとともに、十五夜行事・鬼火焚きなどの伝統行事に取り組むなど、地域活動が盛んである。

### 校区の施設

- ・瀬々串校区公民館
- ・瀬々串小学校
- ・上公民館                      ・中公民館
- ・下公民館                      ・浜田公民館
- ・星和コミュニティセンター
- ・瀬々串郵便局              ・瀬々串駅
- ・瀬々串保育園              ・喜入港瀬々串

### 校区の文化財等

- ・蠟箱
- ・カ石
- ・番所跡
- ・茂柏山存庭院跡  
と僧侶墓
- ・孝子山之丞の墓

### 校区の伝統行事

- ・瀬々串棒踊り
- ・瀬々串相撲
- ・六月灯
- ・十五夜行事
- ・鬼火焚き
- ・そば切り豊祭

### 校区の団体等

- ・社会福祉協議会
- ・高砂会
- ・シルバークラブ
- ・瀬々串棒踊り保存会
- ・女性団体

### 校区の人口(年齢構成) 令和4.1.1現在

0～9歳	137人	60～69歳	478人
10～19歳	149人	70～79歳	365人
20～29歳	135人	80～89歳	224人
30～39歳	176人	90～99歳	65人
40～49歳	226人	100～109歳	2人
50～59歳	302人	(人口)	2259人





瀬々串校区公民館



瀬々串小学校



上公民館



中公民館



下公民館



浜田公民館



星和コミュニティセンター



瀬々串郵便局



J R瀬々串駅



瀬々串保育園



喜入港瀬々串



瀬々串棒踊り



瀬々串相撲



そば切り豊祭



蠟箱



力石



番所跡



茂柏山存庭院跡と僧侶墓



孝子山之丞の墓



瀬々串浦



宮崎神社



錦光寺



湧水井戸



瀬々串小学校跡

### Ⅲ 瀬々串校区の現状と課題

#### 1 まちづくり部会

##### ■ 現 状

- 住民は自然環境（山、海）がよく、のんびり暮らせる、住民の人柄が良いことを住みやすさと感じている。逆に、住みにくさの理由を「買い物が不便、交通の便が悪い」とした人が多い。近くに生活雑貨や食料品などの小売店が少なくなったことや、大型店や専門店での買い物が市街地まで出かけなければならないことからであると考えられる。
- 高齢化と少子化も大きな問題で、小学校の将来が心配と思う人が多く、地域の将来を担う子供たちへの支援、さらに増えていく高齢者への支援などの充実が求められている。
- 地域の環境問題で関心が高いのは、近隣の空き地や空き家である。令和2年度の調査で、校区内の空き家が113戸あった。茂った草木の処理、防犯安全の観点からも苦情が寄せられることがある。さらに犬、猫の糞の放置、ごみステーションのマナーについても問題視する声がある。
- 瀬々串花いっぱい運動では「ひまわり」「彼岸花」「コスモス」等年間を通して、公民館、瀬々串駅等に植栽したが、もっと大勢の協力者がほしい。
- 海岸美化に対する住民の関心は高く、「海岸美化作業」には多くの住民の参加がみられた。国道の工事で実施できない年もあったが継続していきたい。

##### ■ 課 題

- 少子高齢化はますます進行することは確実である。少子高齢化の中でさらに絆を深める手立てを模索していく必要がある。地域の将来を担う子供たちへの支援やさらに増えていく高齢者への支援などの充実が求められる。
- 住民が問題視している雑草だらけの耕作放棄畑、空き地、空き家、ゴミの不法投棄等への対応についても、他の部会や瀬々串地域農地保全連絡会とも連携して対応する必要がある。



花いっぱい運動（ひまわり）



## 2 社会体育部会

### ■ 現 状

- 地域住民は個々にウォーキングをしたり、バレーボールやサッカーなどのスポーツ活動に取り組んだりしている人がいるが、このようなスポーツ活動に参加したことがない人が半数を占めている。健康志向の高まりで、自身の体力づくりに励む人がいる反面、全くスポーツ活動に興味のない人もいる。
- 第1期プランの事業には揚げてなかったが、平成30年度から実施している校区グラウンドゴルフ大会には、多くの人に参加している。2期目のアンケートで、これまでに参加したことがあると回答した人は22%である。校区運動会や地域体育大会への出場者も毎年同じような顔ぶれになることが多い。
- 地域行事に参加する住民が固定化されている。主な参加者としては、高齢者や児童の保護者となっており、全員参加型の地域行事を実施できていない状況である。

### ■ 課 題

- 長年続いてきている校区運動会には、これまで多くの参加者があったが、さらに多くの人に参加できるような内容を企画したり、種目を工夫したりすることが求められている。
- 気軽にできるニュースポーツ、ストレッチなどの紹介を兼ねた催しを検討し、将来的には多くの人に参加できるスポーツ大会や、レクリエーション大会の開催を検討する必要がある。
- 校区・集落主催のスポーツ行事に、年齢・性別とらわれることなく、多くの住民が参加・賛同出来るようなスポーツ行事の企画が必要である。



校区グラウンドゴルフ大会

### 3 福祉・安全部会

#### ■ 現 状

- 住民が、地域福祉で充実させてほしい項目としては、「高齢者、障がい者、子供の見守り活動」や「子育て支援」の割合が高い。また、「住民同士の支え合い」「あいさつ運動」「高齢者へのサービス」が続いている。少数ではあるが、「独居老人の見守り」もあるので、高齢者福祉の充実を望んでいることがうかがえる。
- 日頃の不安や悩みは、家庭や親せき等に相談しているが、独居老人は健康、病気、老後の生活などの悩みや不安の意見が多くあり、相談の支援体制を構築する必要がある。
- 安心安全について市道でのスピード規制や標識の設置、児童生徒の登下校の事故防止、不審者対策については、具体化を図っていく必要がある。
- 防災については、各自治会で防災組織が結成され、避難訓練や防災訓練が実施されているが、計画的に行うことが求められる。
- 令和元年度から、5台7人での青色パト車によるパトロールが始まり、子供たちや住民の安心安全に寄与している。

#### ■ 課 題

- 福祉活動として高齢者を対象とした見守り活動、障がい者ふれあい活動、趣味や特技などを通じて多くの人とのふれあう活動、子育てサロン活動、健康づくりや介護講習会等を実施し多くの人気が気軽に参加し相談できる機会をつくる必要がある。
- 安心安全対策として、交通安全教室、青色パトロール、下校時の児童生徒の見守り活動、危険箇所点検等を実施しているが、安心安全な地域づくりをさらに充実させていく必要がある。
- 災害を想定した訓練については、地震想定訓練、救命救急法の訓練、津波を想定した訓練等住民の意向を踏まえて計画的に行うことが求められている。



子育てサロン（クリスマス会）

## 4 社会教育部会

### ■ 現 状

- 年間約10講座を実施している「成人・女性学級」に参加する人は高齢者が多く、メンバーが固定している状況である。平日開催が多いことや働き盛りの世代で参加しにくいこと、参加の意志があっても期日が合わないことなどが考えられる。
- 年間計画作成に当たっては、受講者から開設講座の調査をするが、なかなか広がらないのが実情である。
- 校区文化祭の展示作品の応募が少なく、また芸能発表への出演者も毎年同じような顔ぶれである。
- 「音楽の広場」「ヨガ教室」には、一定の参加者は見られる。ただ、参加者の広がりという点では工夫が必要である。
- 「青少年健全育成大会」と「鬼火焚き」は同日に行っており、あいご会・小学校職員・PTA会員等の協力で運営している。住民の無病息災を願って実施する伝統行事であるので大切に継承していきたい。
- 郷土芸能の「瀬々串棒踊り」は、毎年小学5、6年生が踊りを習得し、運動会・文化祭で発表している。

### ■ 課 題

- 成人・女性学級等への参加者募集は回覧や放送等では、なかなか参加者を増やすことが難しい。場所や開催日、時間帯、内容を工夫することにより参加者増につなげたい。
- 瀬々串地域の歴史や史跡等に触れる機会のない大人が意外と多い。ふるさと瀬々串の史跡巡りをしたり、歴史の学習をしたりする機会を検討したい。
- 「瀬々串棒踊り」は小学生への指導により保存継承の手立てがとられているが、若い世代の成人が踊る機会を設けることも必要である。また、高齢化が進んでいる指導者の継承も課題である。



成人女性学級（花の寄せ植え）

## Ⅳ まちづくりの目標

### 1 目標（スローガン）

先人たちの知恵

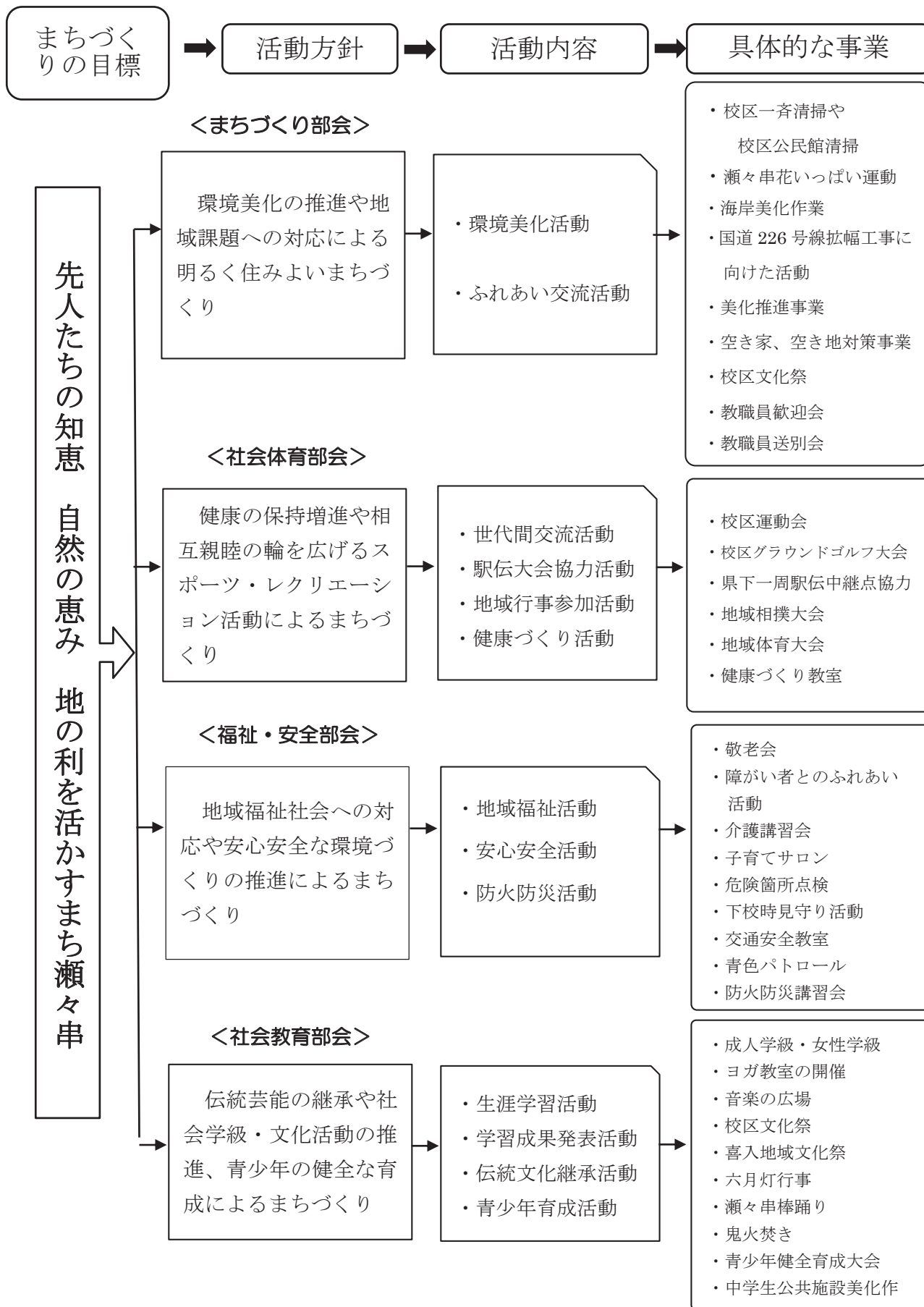
自然の恵み

地の利を活かすまち瀬々串

### 2 運営方針

- (1) 地域住民が連帯意識をもち、長年この地で育んできた先人たちの知恵から学び自然の恵みに感謝し、地の利を活かして住民が主体となった潤いと活力あふれるまちづくりを推進する。
- (2) 「瀬々串郷土誌 唱歌」のごとく、住民みんなが助け合いながら楽しく暮らせるまちづくりを推進する。
- (3) みんなで創るまちづくりを基本に、役割分担した部会の主体的・積極的な活動の充実に努める。
- (4) 地域住民や各種構成団体との情報交換を密にして連携・協調を図り、効率的な事業推進に努める。
- (5) 校区の課題やまちづくりへの住民の声を活かして策定した地域コミュニティプラン（地域振興計画）をもとに、自助・共助による実現を目指すとともに、関係行政との連携による活動（公助）の充実に努める。

### 3 活動の体系図



## V 事業計画

番号	実施 部会	活動方針	活動内容	事業名	事業内容
1	ま ち づ く り 部 会	環境美化の 推進や地域 課題への対応 による明るく 住みよい まちづくり	環境美化活動	校区一斉清掃 や校区公民館 清掃	市全体で取り組む美化活動「クリーンシティかごしま」及び年末一斉清掃を集落単位で取り組む。また毎月1回集落持ち回りで校区公民館清掃を行う。
2				瀬々串 花いっぱい 運動	喜入地域のシンボルとなりつつあるひまわりや彼岸花などの季節を彩る花を校区公民館や校区内の道路わきに植栽する。
3				海岸美化作業	年1回、構成団体を中心に参加者を募り、瀬々串の海岸に打ち上げられているゴミ拾いなどの美化作業を行う。
4				国道 226 号線 拡幅工事に 向けた活動	国道 226 号線を安心安全に利用できるように歩道の確保を目指した活動を行う。
5				美化推進事業	犬猫の糞の処理、ごみ出しのルールやマナーが守られるように立哨や広報活動を行う。
6				空き家、空き地 対策事業	地域内の空き家・廃屋調査を実施し、犯罪及び火災の未然防止や地域づくりへの活用など具体的な対策を検討する。
7		ふれあい交流 活動	校区文化祭	校区民の農産物品評会や小学校 P T A バザー、抽選会を行う。また、棒踊り、小学校・保育園・自主学习グループ・個人的活動で学んだ成果を展示や舞台上で発表する。	
8			教職員歓迎会	教職員等の転入の際、歓迎会を実施する。当地名物の豊祭そばを振る舞い、そば踊りを披露するなどして、歓迎の気持ちを表す。	
9			教職員送別会	教職員等の転退職の際、送別会を実施する。子どもたちの教育や地域活動に尽力されたことに対する感謝の気持ちを表す。	

事業効果	事業スケジュール(年度)					新規/ 継続	備 考
	4	5	6	7	8		
校区一斉清掃や、校区公民館清掃の実施により生活環境の美化が推進されるとともに、住民どうしのふれあいの場となり、地域の連帯意識が高まる。	○	○	○	○	○	継続	
校区公民館をはじめ、校区内に花を植栽することで住民の目を楽しませ、潤いとゆとりのあるまちづくりにつながる。	○	○	○	○	○	継続	
自分たちの住む海岸の美化が図られるとともに、自然を大切にする意識が生まれ、参加者の心の交流が図られる。	○	○	○	○	○	継続	
歩道の設置により、児童生徒が安心して通学できるとともに、住民が安心安全に往来できる。	○	○	○	○	○	新規	瀬々串小PTA 高砂会 青壮年会・同志会
立哨や広報等により犬、猫の糞処理やごみ出しのマナーが向上し、道路やごみ収集所の美化が図られる。	○	○	○	○	○	新規	
安心安全への具体的な環境整備対策がとられ、空き家、空き地の有効活用による公園の設置等、地域づくりに生かされ、人口増も期待できる。	○	○	○	○	○	新規	瀬々串地域農地保全 連絡会
校区文化祭は、住民の交流の場となる。また、農産物品評会への出品者にとっては、農産物の生産の意欲が高まり、生きがいつくりにつながる。	○	○	○	○	○	継続	社会教育部会
転入者への地域紹介の場になる。また、教職員やPTA、住民との交流の場となり、お互いのつながりを深める機会となる。	○	○	○	○	○	継続	瀬々串小学校 PTA
転退職者への謝意を新たにする機会となる。また、教職員やPTA、住民との交流が図られ、学校等への理解を深める機会となる。	○	○	○	○	○	継続	瀬々串小学校 PTA

番号	実施 部会	活動方針	活動内容	事業名	事業内容
10	社 会 体 育 部 会	健康の保持 増進や相互 親睦の輪を 広げるスポ ーツ・レクリ エーション 活動による まちづくり	世代間交流 活動	校区運動会	小学校との合同開催とし、青少年や一般の方々が運営に携わる中、住民が総参加できる競技種目を工夫し、5集落対抗とすることで運動会を盛り上げる。
11				校区 グラウンド ゴルフ大会	日頃グラウンドゴルフをすることの少ない年代にも参加を呼びかけ、5集落混合で競技する。
12			駅伝大会 協力活動	県下一周駅伝 中継点協力	県下一周駅伝中継点業務がスムーズに運営されるように、テント等の設営、地元食材を用いた選手等の接待等の協力を行う。
13			地域行事 参加活動	地域相撲大会	小学校相撲場で2週間にわたって練習を行い、大会出場に向け士気を高めた上で、喜入地域相撲大会へ出場する。
14				地域体育大会	中学生による応援団の練習に取り組んだ上で、子どもから大人まで地域の一員として喜入地域体育大会に参加する。
15		健康づくり 活動	健康づくり 教室	だれでもいつでも手軽にできるニュースポーツを中心とした健康づくり教室を開催し、住民のスポーツ活動への参加を促進する。	
16	福 祉 安 全 部 会	地域福祉 社会への対応 や安心安全な 環境づくりの 推進による まちづくり	地域福祉活動	敬老会	敬老の日にちなみ、多年にわたり社会に尽力してきた高齢者を敬愛し長寿を祝い、踊りやお茶会等を催し、記念品を贈る。
17				障がい者との ふれあい活動	障がい者と住民との交流、ふれあいの機会を設け、スカットボールやレクリエーション・ゲームを楽しみ、意見交換等を行う。
18				介護講習会	寝たきりや身体の不自由な方々を介護している方や住民を対象に、専門の介護講師による実技講習を実施する。



事業効果	事業スケジュール(年度)					新規/ 継続	備 考
	4	5	6	7	8		
住民総参加のまちづくりが推進されるとともに、青少年が運営に携わることにより世代間交流がなされる。	○	○	○	○	○	継続	瀬々串小学校
高齢者や若い人が年齢に関係なくグラウンドゴルフの楽しさや、健康づくり等について話す場になり、ふれあいと元気なまちづくりにつながる。	○	○	○	○	○	新規	
中継点協力を通して、住民に一体感が生まれる。また、迫力ある駅伝中継点を間近に目にする子どもたちに、感動と夢を与えられる。	○	○	○	○	○	継続	
相撲道の精神「気力、体力、礼儀作法」や相手を思いやる心、フェアプレーの精神を学ぶとともに、青少年のたくましが育まれる。	○	○	○	○	○	継続	
地域体育大会への参加により、校区民の一体感が生まれる。また、他の校区の方々と交わりをもつことで、喜入地域の絆を深められる。	○	○	○	○	○	継続	
ニュースポーツを体験することにより、自分に合った種目を見つけるなど、スポーツ活動への意欲をもち、健康づくりの気運が高まる。	○	○	○	○	○	継続	
長寿の祝福とともに、住民とのふれあいにより、高齢者の福祉についての関心が高まり、高齢者の生活向上につながる。	○	○	○	○	○	継続	自治会 高砂会
障がい者とのふれあい活動を通して、お互いの理解が深まり、意見交換等を行うことにより、福祉に関する地域の課題を共有できる。	○	○	○	○	○	継続	校区社会福祉協議会
介護に携わる方や住民が、介護のあり方と実技を交えての介護講習を受講することにより、在宅介護支援活動に生かされる。	○	○	○	○	○	継続	校区社会福祉協議会 社会教育部会

番号	実施部会	活動方針	活動内容	事業名	事業内容
19	福祉安全部会	地域福祉社会への対応や安心安全な環境づくりの推進によるまちづくり	地域福祉活動	子育てサロン	毎月第3火曜日、未就学児とその保護者を対象に、育児の悩みや不安の相談、紙芝居、四季の行事、レクリエーション・ゲーム等を行い、仲間づくりを進める。
20			安心安全活動	危険箇所点検	地域安心安全ネットワーク会議及び自主防災会、関係団体合同による地域内の危険箇所の点検活動を実施する。実施後、マップを作成し、改善策を検討する。
21				下校時見守り活動	高齢者や民生委員を中心に、毎週火・木曜日の児童生徒の下校時に、交通安全、声かけ、見守り活動を実施する。
22				交通安全教室	交通量の多い国道や市道を抱え、交通事故が発生している状況を受け、高齢者の事故防止を推進するための交通安全教室を開催する。
23			青色パトロール	青色パトロール車を使用し、地域巡回型の防犯活動の中で、子どもの登下校や独居老人の見守り等の活動を実施する。	
24		防火防災活動	防火防災講習会	災害に備え、防火防災の心得や災害発生時の救急救命の方法の基本的知識を学ぶ講習会を、集落単位で実施する。	
25	社会教育部会	伝統芸能の継承や社会学級・文化活動の推進、青少年の健全な育成によるまちづくり	生涯学習活動	成人学級・女性学級	社会の変化に伴う必要課題や学級生の要求課題及び地域課題等から魅力ある学習内容を企画し学び合う成人学級・女性学級を開講する。
26				ヨガ教室の開催	住民の「生きがいづくり（趣味）講座」の開設希望を受け、希望する住民が気軽に参加できる「ヨガ教室」を開催する。
27				音楽の広場	住民の「生きがいづくり（趣味）講座」の開設希望を受け、思い出の歌等を皆で歌い、時代の変遷を語り合う「音楽の広場」を開催する。

事業効果	事業スケジュール(年度)					新規/ 継続	備 考
	4	5	6	7	8		
レクリエーション・ゲーム等で親子の絆が深まるとともに、育児の悩み等の相談等を行うことにより、育児のあり方に見通しをもつことができる。	○	○	○	○	○	継続	校区社会福祉協議会
マップの作成等により校区の危険箇所や災害発生等の情報を提供することで、住民の安全意識が高まり、安心安全なまちづくりが推進できる。	○	○	○	○	○	継続	地域安心安全 ネットワーク会議 スクールゾーン 委員会
児童生徒の下校時の安全確保のために見守り活動に取り組むことは、不審者による被害防止や交通安全の推進に寄与する。	○	○	○	○	○	継続	高砂会 民生委員・児童委員
住民、特に高齢者の事故防止推進により、住民の交通安全意識が向上し、高齢者死亡事故ゼロ、明るい地域づくりが推進される。	○	○	○	○	○	継続	鹿児島南警察署 社会教育部会
ボランティアによるパトロールで、子どもの犯罪被害防止や犯罪に対する抑止力になるとともに、住民の防犯意識の向上につながる。	○	○	○	○	○	継続	社会教育部会 民生委員・児童委員 校区社会福祉協議会
住民の災害に対する意識が高まり、日々の準備がなされるとともに、被害者への迅速な救助活動が実践されるようになる。	○	○	○	○	○	継続	南消防署喜入分遣隊 瀬々串消防分団
社会生活上の様々な課題を学習する中で、必要な教養や知識技能を習得し、その成果を地域づくりの力として生かすことができる。	○	○	○	○	○	継続	
「ヨガ教室」を受講することにより、心身のバランスが整い、生活のリズムがつくられるなど、生きがいがづくりにつながる。	○	○	○	○	○	継続	
「音楽の広場」を受講することにより、音楽を介して昔を振り返り、心を豊かにし、絆を深め、生活に潤いをもつことができる。	○	○	○	○	○	継続	

番号	実施 部会	基本方針	活動内容	事業名	事業内容	
28	社 会 教 育 部 会	伝統芸能の 継承や社会 学級・文化 活動の推進、 青少年の健全 な育成による まちづくり	学習成果発表 活動	校区文化祭	農産物品評会や小学校P T Aバザー、抽選会を行い、棒踊り、保育園児・小学生・公民館講座・自主学習グループ・個人的活動の成果を展示・舞台発表する。	
29				喜入地域総合 文化祭	保育園児・小学生の作品展示や公民館講座・自主学習グループ・個人的活動で学んだ成果の発表の場として、地域文化祭の展示や舞台発表などの部門に参加する。	
30			伝統文化継承 活動	六月灯行事	小学生による灯籠づくり・展示や神輿かつぎ等に取り組むなど、校区民総参加による手づくりの六月灯を実施する。	
31					瀬々串棒踊り	棒踊り保存会による指導の下、小学5・6年生全員及び住民の有志で継承し、運動会・文化祭等で発表する。
32					鬼火焚き	新春の伝統行事として継承している鬼火焚きを実施し、校区民の無病息災を祈願する。
33			青少年育成 活動	青少年健全 育成大会	自治会のあいご会による持ち回りの実践発表や、意見発表等を内容とする青少年健全育成大会を開催する。	
34					中学生公共 施設美化作業	夏季休業中の「校区一斉清掃」の実施日に、校区内中学生総参加による校区公民館や瀬々串駅等の美化作業を行う。

事業効果	事業スケジュール(年度)					新規/ 継続	備 考
	4	5	6	7	8		
校区文化祭は、住民の交流の場となる。また、展示・舞台発表者にとっては、学習の意欲が高まり、生きがいづくりにつながる。	○	○	○	○	○	継続	まちづくり部会
より多くの住民に、学習成果を発表することで、住民の学習活動が活発化し、明るく楽しいまちづくりに寄与できる。	○	○	○	○	○	継続	
住民同士の親睦を図る場になるとともに、行事に隠された歳時意識や住民の帰属意識を高める機会にもなる。	○	○	○	○	○	継続	
先人が長年にわたり継続してきた棒踊りを子どもたちが継承することで、棒踊りを保存・継承できるとともに、健全育成に寄与する。	○	○	○	○	○	継続	瀬々串棒踊り保存会
鬼火焚きの実施により、住民の一体感が共有され、子どもたちに伝統を大切に作る心が育まれる。	○	○	○	○	○	継続	校区あいご会
大会を実施することで、あいご会の趣旨である住民総ぐるみによる取組が前進し、青少年の健やかな育成が図られる。	○	○	○	○	○	継続	校区あいご会
美化活動を通して、中学生どうしのふれあいや絆が深まるとともに、ボランティア精神や校区の連帯意識が強まる。	○	○	○	○	○	継続	

## VI 資料

### 1 プラン策定の経過

### 2 プラン策定委員会委員名